

令和5年度横浜国立大学大学院入学者選抜の変更について（予告）

令和4年2月14日更新

このことについて、次の通り変更します。

令和4年2月14日付で変更内容を新たに追加しました。（青文字箇所）

1. 国際社会科学府経営学専攻（博士課程前期・後期） 詳細は2～10ページ参照

- ・提出書類を変更します。（一般入試・社会人入試）
- ・外国語試験を変更します。（一般入試・社会人入試）
- ・論文試験の出題範囲と推奨テキストを指定します。（博士課程前期一般入試）
- ・問題選択方法を変更します。（博士課程前期一般入試）
- ・論文入試を廃止します。（博士課程前期論文入試）

2. 環境情報学府（博士課程前期・後期） 詳細は11～13ページ参照

- ・筆記試験選抜の名称を変更します。
- ・一般選抜で課す筆記試験の内容を変更します。

3. 都市イノベーション学府（博士課程前期） 詳細は14ページ参照

- ・特別選抜を行わないコースを追加します。

4. 国際社会科学府経営学専攻及び国際経済法学専攻（博士課程後期） 詳細は15ページ参照

- ・専攻横断教育プログラム「租税法・会計EP」を廃止するため、当該EPの募集を停止します。

2023（令和5）年度入学者以降の学生募集について（予告）

2023（令和5）年度以降の、横浜国立大学大学院国際社会科学府経営学専攻博士課程前期および同後期入学試験（2022（令和4）年度実施分以降）における入試方法を次のように変更します。

国際社会科学府経営学専攻博士課程前期（一般入試学生募集）

<変更点>

- ・提出書類（出願書類）の追加：TOEFL-iBT（Home Edition を含む）の公式スコア（Official Score Report）
- ・学力検査科目における外国語（英語）試験の削除
- ・学力検査科目における論文試験の出題範囲と推奨テキストの指定
- ・学力検査科目における論文試験について、会計学分野または経営システム科学分野の指導教員を第1志望とする場合は、それぞれの分野の問題の中から1題を選択すること。

	従来（2022年度入試）	変更後（2023年度入試以降）
提出書類（出願書類）		<p>TOEFL-iBT（Home Edition を含む）の公式スコア（Official Score Report）</p> <p>「 EDUCATIONAL TESTING SERVICE」発行の「Official Score Report」のみ有効（郵送用のスコアレポートには「Institutional Score Report」と記載されています）。</p> <p>「 Official Score Report 」が、「 EDUCATIONAL TESTING SERVICE」から横浜国立大学へ直送されるように手配すること。出願期間内に必着のこと。</p> <p>注1：本学（横浜国立大学）への送付手続きをする際に、次のコードを使って、出願期間内までに成績証明書が届くように日数に余裕を持たせて手続きを済ませてください。手続き方法や発行に要する日数等については、TOEFL テストの日本事務局（CIEE）のウェブサイト詳しく掲載されていますので、そちらを参考にしてください。出願期間内までに成績証明書が本学に届いていない場合、原則として出願は受理されません。</p>

		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 横浜国立大学 (Yokohama National University) Institution Code 0410 Department Code 99 </div> <p>注2：TOEFL のスコアシートに Test Date Scores と MyBest Scores の両方が表示されますが、スコアとしては Test Date Scores が採用されます。</p>
学力検査科目等	第1次選抜 外国語 英語 論文 問題の中から、2題選択すること。 (注)ただし、会計学の指導教員(23, 24頁「2022年度研究指導教員一覧」で、※が付いている教員)を第1希望とする場合は、会計学分野の問題の中から1題は選択すること。	第1次選抜 論文 経営学分野(2題)、会計学分野(2題)、経営システム科学分野(2題)の6題の中から、2題選択すること。ただし、「2023年度研究指導教員一覧」のうち、会計学分野または経営システム科学分野の指導教員を第1志望とする場合は、それぞれの分野の問題の中から1題を選択すること。 各問題の出題範囲と推奨テキストは、本専攻ウェブサイト (https://www.b.ynu.ac.jp/admission/master/index.html) に掲載されているので参照すること。
	【注意】 ① 解答は、日本語で行うこと。辞書等の持ち込みは一切不可。 ② 第1次選抜(筆記試験)で外国語、論文のいずれかの試験を受験しなかったものは、第1次選抜を放棄したものとみなす。	【注意】 解答は、日本語で行うこと。辞書等の持ち込みは一切不可。

国際社会科学府経営学専攻博士課程前期（社会人入試学生募集）

<変更点>

- ・提出書類（出願書類）の追加：TOEFL-iBT（Home Edition を含む）の公式スコア（Official Score Report）
- ・学力検査科目における外国語（英語）試験の削除

	従来（2022 年度入試）	変更後（2023 年度入試以降）
提出書類（出願書類）		<p>TOEFL-iBT（Home Edition を含む）の公式スコア（Official Score Report） 「EDUCATIONAL TESTING SERVICE」発行の「Official Score Report」のみ有効（郵送用のスコアレポートには「Institutional Score Report」と記載されています）。 「Official Score Report」が、「EDUCATIONAL TESTING SERVICE」から横浜国立大学へ直送されるように手配すること。出願期間内に必着のこと。</p> <p>注1：本学（横浜国立大学）への送付手続きをする際に、次のコードを使って、出願期間内までに成績証明書が届くように日数に余裕を持たせて手続きを済ませてください。手続き方法や発行に要する日数等については、TOEFL テストの日本事務局（CIEE）のウェブサイトに詳しく掲載されていますので、そちらを参考にしてください。出願期間内までに成績証明書が本学に届いていない場合、原則として出願は受理されません。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>横浜国立大学（Yokohama National University） Institution Code 0 4 1 0 Department Code 9 9</p> </div> <p>注2：TOEFL のスコアシートに Test Date Scores と MyBest Scores の両方が表示されますが、スコア</p>

		としては Test Date Scores が採用されます。
選抜方法	<p>(1) 第1次選抜は、学力検査および出願書類の内容を総合して行います。</p> <p>(2) 第2次選抜は、第1次選抜合格者に対し、口述試験を行います。</p>	<p>(1) 第1次選抜は、出願書類の内容を総合して行います。</p> <p>(2) 第2次選抜は、第1次選抜合格者に対し、口述試験を行います。</p>

国際社会科学府経営学専攻博士課程前期（論文入試学生募集）

当該入試制度を廃止する。

国際社会科学府経営学専攻博士課程後期（一般入試学生募集）

<変更点>

- ・提出書類（出願書類）の変更：TOEFL-iBT（Home Edition を含む）の公式スコア（Official Score Report）のみ
- ・選抜方法における外国語（英語）試験の変更

	従来（2022 年度入試）	変更後（2023 年度入試以降）
提出書類（出願書類）	<p>(4) TOEIC あるいは TOEFL, IELTS の成績証明書</p> <p>TOEIC730 点以上あるいは TOEFL PBT 換算 550 点 (iBT (Test Data スコア)79 点) 以上, IELTS スコア 6.0 以上の成績証明書。過去 3 年以内に受験した試験の成績証明書本誌を提出してください。コピーは不可です。(外国語【英語】試験の免除を希望する場合のみに必要です。IV. 選抜方法を参照してください。) TOEFL, IELTS の成績証明書は大学に直送される証明書(公式スコア)が必要です。公式スコアを直送する際の横浜国立大学のコード番号 (Institution Code) は「0 4 1 0」, 機関名 (Name of Institution) は「Yokohama National University」です。</p> <p>なお、公式スコアの到着が遅延する場合があります。時間には十分余裕を持って送付手続きをしてください。<u>出願期間内に公式スコアが本学に届いていることが確認できない場合は、出願資格を失います。</u></p>	<p>(4) TOEFL-iBT（Home Edition を含む）の公式スコア（Official Score Report）</p> <p>「 EDUCATIONAL TESTING SERVICE」発行の「Official Score Report」のみ有効（郵送用のスコアレポートには「Institutional Score Report」と記載されています）。「Official Score Report」が、「 EDUCATIONAL TESTING SERVICE」から横浜国立大学へ直送されるように手配すること。出願期間内に必着のこと。</p> <p>注1：本学（横浜国立大学）への送付手続きをする際に、次のコードを使って、出願期間内までに成績証明書が届くように日数に余裕を持たせて手続きを済ませてください。手続き方法や発行に要する日数等については、TOEFL テストの日本事務局（CIEE）のウェブサイトに詳しく掲載されていますので、そちらを参考にしてください。出願期間内までに成績証明書が本学に届いていない場合、原則として出願は受理されません。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>横浜国立大学（Yokohama National University）</p> <p>Institution Code 0 4 1 0</p> <p>Department Code 9 9</p> </div> <p>注2：TOEFL のスコアシートに Test Date Scores と MyBest Scores</p>

		の両方が表示されますが、スコアとしては Test Date Scores が採用されます。
選抜方法	<p>外国語試験（租税法・会計 EP を除く）、論文審査及び口述試験の結果を総合して行います。</p> <p>(1) 外国語試験 英語 1 題を選択。 ※ 辞書の持ち込みはできません。 ※ 解答は日本語で行ってください。また、TOEIC730 点以上の者あるいは、TOEFL PBT 換算 550 点（iBT(Test Date スコア)79 点) 以上、IELTS スコア 6.0 以上の者は外国語試験（英語）が免除されます。 ※ 租税法・会計 EP では、外国語試験が課されません。</p> <p>(2) 論文審査 審査用論文について行います。</p>	<p>TOEFL-iBT（Home Edition を含む）スコア、論文審査及び口述試験の結果を総合して行います。</p> <p>(1) TOEFL-iBT（Home Edition を含む）スコア ※ 租税法・会計 EP では、当該スコアは使用しません。</p> <p>(2) 論文審査 審査用論文について行います。</p>

国際社会科学府経営学専攻博士課程後期（社会人入試学生募集）

<変更点>

- ・提出書類（出願書類）の変更：TOEFL-iBT（Home Edition を含む）の公式スコア（Official Score Report）のみ
- ・選抜方法における外国語（英語）試験の変更

	従来（2022 年度入試）	変更後（2023 年度入試以降）						
提出書類（出願書類）	<p>(4) TOEIC あるいは TOEFL, IELTS の成績証明書 TOEIC730 点以上あるいは TOEFL PBT 換算 550 点 (iBT (Test Data スコア)79 点) 以上, IELTS スコア 6.0 以上の成績証明書。過去 3 年以内に受験した試験の成績証明書本誌を提出してください。コピーは不可です。(外国語【英語】試験の免除を希望する場合のみに必要です。IV. 選抜方法を参照してください。) TOEFL, IELTS の成績証明書は大学に直送される証明書(公式スコア)が必要です。公式スコアを直送する際の横浜国立大学のコード番号 (Institution Code) は「0 4 1 0」, 機関名 (Name of Institution) は「Yokohama National University」です。</p> <p>なお, 公式スコアの到着が遅延する場合があります。時間には十分余裕を持って送付手続きをしてください。<u>出願期間内に公式スコアが本学に届いていることが確認できない場合は, 出願資格を失います。</u></p>	<p>(4) TOEFL-iBT (Home Edition を含む) の公式スコア (Official Score Report) 「EDUCATIONAL TESTING SERVICE」発行の「Official Score Report」のみ有効(郵送用のスコアレポートには「Institutional Score Report」と記載されています)。「Official Score Report」が、「EDUCATIONAL TESTING SERVICE」から横浜国立大学へ直送されるように手配すること。出願期間内に必着のこと。</p> <p>注1：本学（横浜国立大学）への送付手続きをする際に、次のコードを使って、出願期間内までに成績証明書が届くように日数に余裕を持たせて手続きを済ませてください。手続き方法や発行に要する日数等については、TOEFL テストの日本事務局（CIEE）のウェブサイトに詳しく掲載されていますので、そちらを参考にしてください。出願期間内までに成績証明書が本学に届いていない場合、原則として出願は受理されません。</p> <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <tr> <td colspan="2">横浜国立大学（Yokohama National University）</td> </tr> <tr> <td>Institution Code</td> <td>0 4 1 0</td> </tr> <tr> <td>Department Code</td> <td>9 9</td> </tr> </table> <p>注2：TOEFL のスコアシートに Test Date Scores と MyBest Scores の両方が表示されますが、スコア</p>	横浜国立大学（Yokohama National University）		Institution Code	0 4 1 0	Department Code	9 9
横浜国立大学（Yokohama National University）								
Institution Code	0 4 1 0							
Department Code	9 9							

		としては Test Date Scores が採用されます。
選抜方法	<p>外国語試験（租税法・会計 EP を除く）、研究業績・実務経験・論文審査及び口述試験の結果を総合して行います。</p> <p>(1) 外国語試験 英語 1 題を選択。 ※ 辞書の持ち込みはできません。 ※ 解答は日本語で行ってください。また、TOEIC730 点以上の者あるいは、TOEFL PBT 換算 550 点（iBT(Test Date スコア)79 点) 以上、IELTS スコア 6.0 以上の者は外国語試験（英語）が免除されます。 ※ 租税法・会計 EP では、外国語試験が課されません。</p> <p>(2) 論文審査 審査用論文について行います。</p>	<p>TOEFL-iBT（Home Edition を含む）スコア，研究業績，実務経験，論文審査及び口述試験の結果を総合して行います。</p> <p>(1) TOEFL-iBT（Home Edition を含む）スコア ※ 租税法・会計 EP では、当該スコアは使用しません。</p> <p>(2) 論文審査 審査用論文について行います。</p>

2023年度入学者以降の学生募集について(予告)

2023 年度入学者以降の、横浜国立大学大学院環境情報学府博士課程前期・後期学生募集(2022 年度実施～)における入試方法を次のように変更します。

1 大学院環境情報学府博士課程前期学生募集における「筆記試験選抜」の名称を以下のとおり変更します。

(変更前) 「筆記試験選抜」 → (変更後) 「**一般選抜**」

2 大学院環境情報学府博士課程前期・後期学生募集における一般選抜で課す筆記試験の内容を以下のとおり変更します。

大学院環境情報学府博士課程前期学生募集【一般選抜】

・人工環境専攻

審査内容	従来	変更点
筆記試験	<p>◎安全環境工学プログラム (教育プログラムコード：HG 1) 安全環境工学プログラムにおける教育分野(安全工学、環境工学、機械工学、材料工学)に関する問題群の中から選択(200点)</p> <p>◎環境学プログラム (教育プログラムコード：HG 2) 環境学プログラムにおける教育分野(環境マネジメント、環境分析学、環境影響評価)に関する問題群の中から選択(200点)</p> <p>◎社会環境プログラム (教育プログラムコード：HG 3) 社会環境プログラムにおける教育分野(イノベーションと環境マネジメント、地域政策)に関する問題群の中から選択(200点)</p>	<p>◎安全環境工学プログラム (教育プログラムコード：HG 1) 安全環境工学プログラムにおける教育分野(安全工学、環境工学、機械工学、材料工学、応用化学など)に関する問題群の中から選択(200点)</p> <p>◎環境学プログラム (教育プログラムコード：HG 2) 環境学プログラムにおける教育分野(環境マネジメント、環境分析学、環境影響評価、安全工学、環境工学、応用化学など)に関する問題群の中から選択(200点)</p> <p>◎社会環境プログラム (教育プログラムコード：HG 3) 社会環境プログラムにおける教育分野(イノベーションと環境マネジメント、地域政策、社会政策など)に関する問題群の中から選択(200点)</p>

・情報環境専攻

審査内容	従来	変更点
筆記試験	<p>◎情報学プログラム (教育プログラムコード：H J 1) 情報学プログラムにおける教育分野(数学, 情報学, 数理情報学)に関する問題群の中から選択 (200 点)</p> <p>◎数理科学プログラム (教育プログラムコード：H J 2) 数理科学プログラムにおける教育分野(数学, 数理情報学, 計算力学)に関する問題群の中から選択 (200 点)</p> <p>◎情報学術プログラム (教育プログラムコード：H J 3) 情報学術プログラムにおける教育分野(数学, 理論言語学, 計算力学, 数理社会学)に関する問題群の中から選択 (200 点)</p>	<p>◎情報学プログラム (教育プログラムコード：H J 1) 情報学プログラムにおける教育分野(数学, 情報学, 数理情報学)に関する問題群の中から選択 (200 点)</p> <p>◎数理科学プログラム (教育プログラムコード：H J 2) 数理科学プログラムにおける教育分野(数学, 数理情報学, 計算力学)に関する問題群の中から選択 (200 点)</p> <p>◎情報学術プログラム (教育プログラムコード：H J 3) 情報学術プログラムにおける教育分野(数学, 理論言語学, 計算力学, 数理社会学)に関する問題群の中から選択 (200 点)</p>

大学院環境情報学府博士課程後期学生募集【一般選抜】

・人工環境専攻

審査内容	従来	変更点
筆記試験	<p>◎安全環境工学プログラム (教育プログラムコード：T G 1) 安全環境工学プログラムにおける教育分野(安全工学、環境工学、機械工学、材料工学)より出題 (200 点)</p> <p>◎環境学プログラム (教育プログラムコード：T G 2) 環境学プログラムにおける教育分野(環境マネジメント、環境分析学、環境影響評価)より出題 (200 点)</p> <p>◎社会環境プログラム (教育プログラムコード：T G 3) 社会環境プログラムにおける教育分野(イノベーションと環境マネジメント、地域政策)より出題 (200 点)</p>	<p>◎安全環境工学プログラム (教育プログラムコード：T G 1) 安全環境工学プログラムにおける教育分野(安全工学、環境工学、機械工学、材料工学、応用化学など)より出題 (200 点)</p> <p>◎環境学プログラム (教育プログラムコード：T G 2) 環境学プログラムにおける教育分野(環境マネジメント、環境分析学、環境影響評価、安全工学、環境工学、応用化学など)より出題 (200 点)</p> <p>◎社会環境プログラム (教育プログラムコード：T G 3) 社会環境プログラムにおける教育分野(イノベーションと環境マネジメント、地域政策、社会政策など)より出題 (200 点)</p>

・情報環境専攻

審査内容	従来	変更点
筆記試験	<p>◎情報学プログラム (教育プログラムコード：T J 1) 情報学プログラムにおける教育分野(数学, 情報学, 数理情報学) より出題 (200点)</p> <p>◎数理科学プログラム (教育プログラムコード：T J 2) 数理科学プログラムにおける教育分野(数学, 数理情報学, 計算力学) より出題 (200点)</p> <p>◎情報学術プログラム (教育プログラムコード：T J 3) 情報学術プログラムにおける教育分野(数学, 理論言語学, 計算力学, 数理社会学) より出題 (200点)</p>	<p>◎情報学プログラム (教育プログラムコード：T J 1) 情報学プログラムにおける教育分野(数学, 情報学, 数理情報学) より出題 (200点)</p> <p>◎数理科学プログラム (教育プログラムコード：T J 2) 数理科学プログラムにおける教育分野(数学, 数理情報学, 計算力学) より出題 (200点)</p> <p>◎情報学術プログラム (教育プログラムコード：T J 3) 情報学術プログラムにおける教育分野(数学, 理論言語学, 計算力学, 数理社会学) より出題 (200点)</p>

※ 自然環境専攻の筆記試験の内容に変更はありません。

2023年度以降の入試について（予告）

横浜国立大学大学院都市イノベーション学府

2023年度以降入学者対象（2022年度夏期実施分以降）の、横浜国立大学大学院都市イノベーション学府博士課程前期における入試方法を次のように変更します。詳細は当該実施分の募集要項で確認をしてください。

大学院都市イノベーション学府博士課程前期入学試験

・建築都市文化コース（都市文化系問題）・横浜都市文化コース（Y-GSC）【特別選抜】

従来（2021年度までの入試）	変更点（2022年度以降の入試）
<p><選抜方法> 一般入試、私費外国人留学生特別入試では、「特別選抜」又は「筆記試験選抜」によって入学者選抜を行う。ただし、建築都市デザインコース（Y-GSA）では特別選抜を行わない。</p>	<p><選抜方法> 一般入試、私費外国人留学生特別入試では、「特別選抜」又は「筆記試験選抜」によって入学者選抜を行う。ただし、建築都市文化コース（都市文化系問題）・横浜都市文化コース（Y-GSC）・建築都市デザインコース（Y-GSA）では特別選抜を行わない。</p>

2023（令和5）年度入学者以降の学生募集について（追加予告）

2023（令和5）年度以降の、横浜国立大学大学院国際社会科学府経営学専攻博士課程後期および同学府国際経済法学専攻博士課程後期入学試験（2022（令和4）年度実施分以降）における入試方法を次のように変更します。

国際社会科学府経営学専攻博士課程後期（一般入試、社会人特別選抜学生募集）

国際社会科学府国際経済法学専攻博士課程後期（一般入試、社会人特別選抜入試学生募集）

<変更点>

- ・専攻横断教育プログラム「租税法・会計 EP」を廃止するため、当該 EP の募集を停止します（各専攻を志望する場合に、EP を選択しないまたは「国際公共政策 EP」を選択する場合については変更ありません）。